平成 25 年 11 月 29 日

産業構造審議会地球環境小委員会化学・非鉄金属 WG 委員会への意見

- ① 基本的に化学・非鉄金属 WG に関係企業の努力は認められる。
- ② これからも地道な努力を継続されることはぜひお願いしたい。
- ③ ただ、産業構造自体が変化する中で現状の延長上に画期的な省エネルギーや CO2 ガス発生抑制を求めるには無理がある。特に化学や非鉄金属は工業素材の提供であり、わが国で製造する場合は高級・高度な素材提供しか残されておらず、素材の加工度が上がるために原単位は上がらざるを得ない。その点への配慮が必要である。
- ④ また、高度の素材の提供は、最終製品の省エネルギーに貢献することからその貢献を評価する指標作りが望ましい。その場合、これから企業のグローバル化がさらに進むのでその変化に対応した指標を考える必要がある。

東北大学 多元物質科学研究所 中村 崇